

互いを思い・・・支え合って進む

命の大切さが実感できるころ豊かな社会をつくる。

この理念を心に留め、会社全体で力を合わせて進んでいくことが、お客様からの評価や企業成長に繋がると考えています。

短大を卒業した20歳のときにまず選んだのは、幼稚園の先生という道でした。その後、たかはし葬儀社への入社を決意したのは、勤めて15年が経ち、体力や将来のライフプランを鑑みて進退を検討し始めたときのこと。

幼い頃から、24時間365日休む間もなく会社を経営しながら働く家族の姿を見てきたので、心のどこかで「自分も会社の力になれないか」とずっと思っていました。その想いを直接伝えたところ、「手伝ってもらえると助かるよ」という言葉ももらい、2010年に入社。今年で12年を迎えます。

現在は取締役として社長のサポートをする傍ら、営業事務・経理・総務などのバックオフィスや店舗対応なども担っています。

職務柄、現場に出ることはありませんが、お客様の力になれている実感があります。たとえば業務のリマインドひとつで、営業担当がさらにスムーズに動けるようになります。結果、葬儀が滞りなく進み、お客様の満足度向上に繋がります。

すべての業務はより良いサービスを提供するためにあり、お客様へと繋がっている。それを念頭に置き、お客様第一で向き合うことが、最終的に「地域ナンバー1」という評価や企業成長へと繋がっていくのでしょうか。

たかはし葬儀社は、地域の方々と共に歩む、地域にとつてなくてはならない会社だと自負しています。ご葬儀様の思いやご要望を丁寧に向い、試行錯誤しながらも立派に仕事を成し遂げる社員の後ろ姿から、その理想は浸透しているとわかります。

社員一同がそれぞれの仕事を全力で行ないつつ、会社としてのビジョンを共有し、同じ目標に向かって歩んでいく。それが、企業成長において欠かせないことではないでしょうか。

その中でも私は「取締役」という役目を担い、社長をはじめ社員を「裏から支える」責務を全うしてまいります。そして、社員だけでなくその家族、ひいては地域の方々にまで幸せを実感していただけるよう、尽力いたします。



The Philosophy of TAKAHASHI SOUGISHA

あなたと共に生きる

Chikako Hosoya